

丹波教育事務所の学校訪問

先日、丹波教育事務所の学校訪問があり、所長はじめ指導主事・管理主事の方々とお話をさせていただきました。

管理主事の方とは主に業務改善について話し合いました。先生方が元気に働く職場環境を創ることが、学校運営を担う管理職として、学校の土台とになると考えています。私からは夏に校内研修で取り組んだ『業務改善のダイヤモンドランキング』をもとに、現在の状況をお伝えしました。ダイヤモンドランキングは、「授業」「教材研究」「子どもへの生活指導」「給食の指導」「学級

通信」など先生が行っている 25 項目をあげ、そのカードを重要度の高い順にダイヤモンド型に並べるといいう研修です。ランキングが完成すると下位にある項目に着目し、どうすれば削減や縮小などの改善ができるかグループごとにアイデアを書き込み交流しました。どのグループでも重要度が高かったのは「授業」「子どもと話す・遊ぶ」「教材研究」「子どもへの生活指導」で、学校において子どもたちの学びと育ちを支える中核をなしている項目です。逆に低かったもの





には、「登下校の立ち番」「校庭や農園の草引き」「プール掃除・水質管理などの学校整備や管理」があり、こうした項目をどのように業務改善していくか、全体交流で話し合った改善策の取組状況をお伝えしました。他校の取組などをお聞きしたかったのですが、時間の関係で残念しました。

また、本校のめざす「自分で考えて行動する力」「新しいことに挑戦、チャレンジできる力」「友だちとともに学べる力」を授業の中で子どもたちに伸ばしてい

こうしている様子を参観いただきました。指導主事の方からは、子どもたちが集中して学びに向かっていることや子ども同士で議論や質問を出し合って授業を進めている主体性を評価いただきました。また今後の取組に活かすアドバイスも併せていただきました。

こうした訪問で様々な声を聞かせていただいたり、意見交流をしたりすることが学校をより活性化させると考えています。ありがとうございました。